

出場者募集開始

そして、物語は動き出す



狂言劇祭

Kyobun Theater Festival 2025

— 2025年作品テーマ **チヨウ** —

本戦 | 2025年8月29日(金) 小ホール

応募期間：4月18日(金)～5月9日(金) ※15:00必着

主催：札幌市教育文化会館（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、札幌市教育委員会

協力：日本劇作家協会北海道支部

WEB <https://www.kyobun.org/enfes-official/>

教文演劇フェスティバル 2025 短編演劇祭 募集要項

熱演の場所、ここに復活！道内外で活躍する劇団やユニットが集まり、テーマに沿った作品でしのぎを削る短編演劇の祭典が3年振りに開催！新型コロナウイルス感染症の猛威により開催中止が余儀なくされ、2022年によろやく復活を遂げましたが、その後は札幌市教育文化会館の改修工事による長期休館により再び中止。2024年にリニューアルオープンを迎えて初となる2025年にこの熱き戦いが帰ってくる！例年、強豪ぞろいのバトルが繰り広げられ、全国から注目が集まるこの祭典が再び動き出します。

今回の舞台は原点回帰となる教育文化会館小ホール。今年のテーマ「**チョウ**」を題材とした20分の短編作品で王者が決まります。台本審査を突破し、本戦に進めるのはわずか4チームという狭き門の中、勝負は本戦1回限りの真剣勝負！限られた空間をどう活かし、テーマをどう表現するか…その手腕が試されます。

さあ、今年の王座を手にするのは誰だ?! 全国にいる短編演劇の猛者たちよ、いまこそ集え!

本戦

短編演劇祭

応募条件

- 札幌市教育文化会館で行う舞台打合せおよびリハーサルに参加可能であること。日程は「開催スケジュール」をご確認ください。
- 事務局との連絡事務は円滑に行うこと。
※ 台本審査通過後に上記が満たされない場合、本戦審査での減点対象となりますので、ご注意ください。
- 5月9日(金)15:00までに応募書類一式を提出すること。
- 教文演劇フェスティバルのPRおよびチケット販売に協力すること。
- 出場が決まった際、PR用に各劇団より動画を制作していただく場合がございます。
- 台本審査で選ばれ、出場が決まったチームには参加費として5,000円をお支払いいただきます。
※ 本参加費(5,000円)の払戻は天災等含め、いかなる場合も払戻はいたしませんのでご了承ください。
※ 交通費含む制作費の補助は天災等含め、如何なる場合においてもいたしませんので予めご了承ください。
※ 開催期間中、会館内での貴重品管理は各自で行ってください。

応募作品について

- 「**チョウ**」をテーマとした20分以内のオリジナル作品であること。
- 転換に係る時間が数分以内であること。
- 舞台はリノリウム敷き(黒)
- 照明・音響ともに仕込みは統一プランになります。使用音源は各チームでご手配ください。
- 舞台スタッフ(舞台監督、音響、照明)は事務局が手配します。映像等を使用する場合は、団体側でオペレーションスタッフを手配し、必ずリハーサルから同席してください。
- ご応募は1団体(1個人)につき1作品のみ受け付けます。
※ 応募作品は、必ず短編演劇祭にて上演予定のものをご提出ください。台本審査通過後の大幅な台本改定は減点の対象となります。

応募方法

- 応募用紙に必要事項を記入の上、台本と応募書類を演劇フェスティバル事務局宛にメールもしくは郵送にてご提出ください。
- 応募用紙は教育文化会館HPよりダウンロードしてください。台本審査にて応募の中から出場4チームを選出します。
- ◎応募に必要な提出物
※ご提出いただいた資料は返却いたしませんのでご注意ください。
 - ①上演台本(データ提出。郵送も可)
 - ②応募用紙(400字程度のあらすじを添える)
 - ③チーム写真(本戦出場決定後、広報に使用します/下記どちらか一点)
 - ・デジタルデータ:jpegもしくはPDF形式(500ピクセル×500ピクセル以上)
 - ・アナログ写真:4cm×4cm以上の正方形

写真撮影について

- 記録や広報使用を目的にリハ、本番等で写真・映像の記録撮影をする場合がございます。当方で撮影した写真・映像は、いかなる理由があっても事務局から後日配布はしません。
- 各自がリハーサルの際に、カメラと撮影者など手配し記録をお願いします。撮影の際は、恐れ入りますが事務局へ事前にご連絡ください。
※各団体による撮影は、ゲネプロ時のみ可能です。
- 撮影する記録写真や映像は今後、教文演劇フェスティバルの広報に使用させていただきます。

開催までのスケジュール

4月18日(金)	応募受付開始
5月9日(金)	応募受付締切(15時厳守)
5月下旬~6月上旬	台本審査会・発表
8月中旬	舞台打合せ(小ホール)
8月26日(火)・27日(水)	舞台リハーサル(小ホール)
8月29日(金)	短編演劇祭本戦

審査方法

- 台本審査
5月下旬~6月上旬に、台本審査会を行います。応募用紙の内容と上演台本を数名の審査員による審査投票の結果、本戦に進出する上位4団体を決定します。(審査会の様子は後日公開予定)
- 本戦
全上演終了後審査員による講評を行います。勝負は観客と審査員による投票によって決められ、即日投票、即日開票によって最多得票チームが優勝となります。優勝団体には豪華特典が与えられます。

出場特典

- チケット売上に応じたキャッシュバック制度
- 会場費、物件料(※)、舞台スタッフ費がすべて無料
※当日は当会館内のリハーサル室を用意します。

優勝特典

- 手作りチャンピオンベルト授与
- 優勝賞金20万円
※その他の特典については後日詳細を発表します。

教文演劇

公式ホームページはこちら ▶



札幌市教育文化会館事業課(原則第2・第4月曜日)
〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目
WEB: www.kyobun.org
TEL: 011-271-5822 FAX: 011-271-1916
Mail: en_fes_mail@yahoo.co.jp
教文演劇フェスティバル担当係 宛